

高知県立幡多けんみん病院 管理栄養士教育評価表
自己評価、上司の○、△、×

		自己評価	上司	
職務態度	規律性	業務の目的、内容等正確にとらえられる		
		与えられた仕事(提出書類等)は期限までに提出できる		
		無理のないスケジュール管理ができる		
		患者氏名、食事内容など必要事項は指差し呼称確認ができる		
		電話で受けた内容を記録し、復唱確認している		
	積極性	疑問やジレンマを言葉で表現できる		
		わからないことを自発的に質問できる		
		自発的に意見や提案ができる		
		不足している知識を得る努力をしている		
		予定外の業務を与えられても前向きに取り組める		
		不測の事態でも支援を受ければ対応できる		
		業務改善に向けて相談、提案ができる		
	アドバイスを受けて業務改善の実践ができる			
	責任性	栄養科の業務を理解している		
		優先順位をつけて業務を遂行できる		
		与えられた業務を最後まで行うことができる		
		できないことは先輩に協力依頼ができる		
		患者や家族、スタッフに対して必要な情報をわかりやすく説明している		
		想定されるリスク(医療事故、個人情報管理など)に注意しながら業務に取り組める		
	業務に関する必要な情報を先輩に報告できている			
	接遇	栄養科内で挨拶ができる		
		院内スタッフへ挨拶ができる		
		電話対応ができる		
		患者、家族と面談時に挨拶と面談理由を説明できる		
		相手が不快に感じない対応ができる		
		相談や業務を依頼する際、相手の状況に気を配れる		
		忙しい場合でも焦らず丁寧な対応できる		
		患者の食事に関するクレームについて対応できる		
給食管理	厨房入室時の服装を守れる			
	食種、食形態を理解できる			
	食種、食形態を患者やスタッフへ説明できる			
	献立の内容を確認できる			
	患者やスタッフからの食事に関する御意見をふまえて献立を修正依頼できる			
	配膳トラブルについて対応できる			
	厨房機器について理解できる			
	厨房機器トラブルについて対応できる			
	食器の発注、管理ができる			
	QA報告システムを理解できている			
QA報告システムの入力ができる				
アレルギー	電子カルテからアレルギー情報を収集できる			
	患者プロフィール、食事オーダーのアレルギー入力方法が理解できる			
	完全除去食と部分除去食の違いを理解できる			
	食物アレルギーの聞き取り、カルテ記録(プロフィール、オーダー変更含む)ができる			
	食物アレルギー中止が望ましい場合、主治医の許可を得て処理ができる			

		自己評価	上司
栄養指導	個別栄養指導の算定基準を理解している		
	コーチングを理解している		
	行動変容ステージを理解している		
	栄養指導予定を確認できる(日時、対象者、依頼医師等)		
	カルテから情報収集し、面談に必要な資料を用意できる		
	難聴、視野障害など患者の状態に合わせたコミュニケーションがとれる		
	患者の思い(治療、健康管理、食事療法など)を傾聴できる		
	患者の性格に応じた面談ができる		
	患者の病態や食事療法への認識、理解度を判断できる		
	生活環境、経済的、心理的背景をふまえたアドバイスができる		
	治療用食品、栄養補助食品について必要性ならびに使用方法、購入方法など説明できる		
	栄養指導加算を算定できる		
	指導内容をカルテへ記録できる		
	ファイルサーバへ面談歴を記録できる		
	栄養指導で得た患者情報について必要に応じて医師・看護師などへ報告できる		
	栄養指導予定を計画、日程調整出来る		
	体組成計(Inbody)の測定ができる		
	体組成測定の数値がわかる		
	おやこ学級の講師を担当できる		
	糖尿病教室の講師を担当できる		
栄養管理	病態を理解出来ている		
	患者の基本情報(プロフィール、アセスメントシートなど)を収集できる		
	身体計測、検査値の正常値を活用できている		
	摂取栄養量を評価できる		
	必要な情報(経過表、処方、静脈栄養など)をカルテから収集しアセスメントできる		
	アセスメント内容を記録できる		
	各病態の治療ガイドラインを確認して栄養ケア計画ができる		
	入院時SGAと栄養管理計画書の作成を確認できる		
	カルテ評価し栄養管理計画書の修正ができる		
	栄養ケア計画を患者に説明している		
	栄養ケアを定期的に見直している		
	栄養ケアについてカルテに記録できる		
	栄養記録を見直し記録の改善につなげている		
多職種連携	個別性を考慮した栄養ケア計画ができる		
	経腸栄養剤のプランが作成できる		
	多職種からの依頼、協力要請に快く速やかに対応できる		
	カンファレンスで必要な情報を報告できる		
	医療スタッフに向けて勉強会の計画立案ができ、実施に向けて行動できる		
	地域の管理栄養士、栄養士、多職種と情報共有に努めている		
	地域連携クリニカルパスを理解できている		
地域連携クリニカルパスの入力ができる			
教育・研究	ToDo機能が使える		
	退院時サマリが作成できる		
	必須の院内研修へ参加できている		
	興味のある院内研修へ参加できている		
	興味のある分野(病態)の学習にすすんで取り組んでいる		
	年1回学会へ参加している		
年1回院外研修、学会で発表する計画をしている			